

## 平成18年 第2回北名古屋市男女共同参画審議会 結果概要

1 日時 平成18年12月22日(金) 午後2時～3時30分

2 会場 北名古屋市役所東庁舎 3階 第5会議室

3 出席者 20人

<委員15人(全員出席)・事務局:教育長以下5人>

4 傍聴者 なし

5 議題等

(1) 会長、教育長あいさつ

(2) 北名古屋市男女の人権尊重・社会参画アンケートの実施について

(3) 平成18年度男女共同参画行政について

(4) 男女共同参画施策の将来像について

(5) その他

6 会議概要

(1) 北名古屋市男女の人権尊重・社会参画アンケートの実施について

資料に基づき事務局説明

3回の審議会部会で設問等を協議し、実施した。成果品は3月に発行する。

<市民>12月6日～20日実施 516/1500部回収 34.4%

<中学生>12月4日3中学校の授業で実施 285部回収

<大学生>12月上旬 名古屋芸術大学(東西キャンパス)で実施 129部回収

(2) 平成18年度男女共同参画行政の推進について

資料に基づき事務局説明及び研修等への派遣委員の協議を依頼

○国立女性教育会館主催の「男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム」派遣報告

・テーマが投資や宇宙技術などもあり、温度差に驚いた。

○「日本女性会議2006しものせき」派遣報告

・緊急事態には女性がいろいろな場に登場することが、地域コミュニティに活力が出る。自治会などあらゆる場の表面へ女性を出すことが必要だと感じた。

・下関は市をあげてボランティアが多かった。会場は、女性ばかりで名称に愛称を付すなど、男性の参加促進を図るべきだと思った。

・10月のあちこちトークにパネリストとして登壇した。防災はタイムリーな話題で、

新潟県女性財団理事長のお話も大変わかりやすかった。観客が少なく残念であったが、それぞれに考えていただけたことと思う。

- ・女性の会男女共同参画委員会が愛知人権ファンクション委員会より委託され、モタロー・ノー・リターンビデオ撮影を行った。2月ごろ県下に配布できる予定。人権教育での活用を狙っている。互いを理解し、いたわりあって、多様な生き方を認め合い、性別役割分担を考え直すきっかけ作りを供したい。主人公の桃子は、戦ではなく平和的話し合いで、男女力を合わせて島を改革していきます。2月18日開催の男女共同参画のつどいで上映するのでご来場を。
- ・市民意識調査実施は大学側も協力できた。学生から、内容には難しいところもあったと聞いている。

### (3) 男女共同参画施策の将来像について

- ・仮称北名古屋市男女共同参画プラン策定につなげるため委員のご意見を伺いたい。
- ・学校の混合名簿が北名古屋市は進んでいない。男子生徒を「君」呼びでなく、「さん」呼びにすることも大事。大人になって「さん」呼びが、すごく新鮮だったとの感想あり。
- ・大学では、混合名簿は普通に行われている。保護者の考え方が作用する。家庭の主婦が「男女共同参画」の言葉自体も知らないケースも多い。
- ・校長当時は、参観日の名簿を混合として、参観者に印を付けてもらった。1番が男の子で最後は女の子ではないので、一定の効果はあったと考えている。
- ・相談員を設置しても、周知に問題があるのか実績がない。名古屋市では、電話による相談もできる。推進施策などもメール媒体などで、市民からアイデアを募ることも市民参画ではないか。

#### <事務局>

市への提案制度は設置されており、メールなどで回答も行っている。

- ・(市内の)自治会長32人は全員男性。地元では区会役15人中女性がお一人あるが、世帯主が単身赴任のため。組長についても19人中3人が女性の現状だが、実際は女性が担っている部分も大きい。責任ある部分は、女性が逃げてしまうことも多いが、役員への女性の登用は是非必要であると思っている。
- ・前の学校では混合名簿を使っていた。健康診断では事務的に性差を必要とすることもある。PTAは圧倒的にお母さんパワーがすごい。おやじの会が組織され父

- 親の参画も促進されたが、廃品回収など一層の男性参加も積極的にお願いしたい。
- ・委員になるまでは、真剣に考えなかったであろう。忘年会で話題にしても、一般には抵抗感がある。おやじの会など、政策がないと男性の子育て参画は難しい。子どもが両親の姿を見て育っていくので、学校や家庭での育てかたが自然と子供に男女共同参画の考え方を身に付けていくようになればと思う。
  - ・北名古屋でも男女共同についての施設整備が望まれる。
  - ・家では妻が、これは男の仕事だよねと言われる。例えると、男社会でも年功序列から能力主義に変わってきたとまどいと同じような感じを受ける。男女共同参画を欲していない否定的な女性はいる。行政が行うことに疑問を感じずる市民もいると思う。
  - ・男女共同参画は、従来の性別役割分担を否定するものではない。時代の要請で女性が社会で男性と対等に活躍できる環境づくり施策が必要ということ。混合名簿もパソコンでどの様にも編集できるので、使い分けをすることが大事。
  - ・ライオンはメスがハンター。獲物は先にオスが食べ、子どもが食べ最後にメスが食べる。人間は社会が複雑になり、今までの定義ではうまく回らない。だから、生きがいを求めて生活するには男女共同参画が大事なんだということで取り組んでいくことが大事。
  - ・情報誌編集委員として市民に男女共同参画社会を周知していきたい。できれば広報に男女共同参画コーナーも設けていきたいと思う。
  - ・理念は、共に生き生きと輝いて生活すること。女性が何かをしたいと思うときに「女だから…」ということがないように、男性も理解してほしい。
  - ・男女共同参画で人々は幸せになるのか？子どもたちを救いたい。経済格差が広がり、食事の取れない子がいる半面、親子で趣味に多額の金額をつぎ込む子もいる。やる気なく無反応な子を見ていると将来の日本が怖くなる。

#### (4) その他

事務連絡 次回会議は19年3月を予定